



アリスタ ライフサイエンスは  
UPLグループの一員です

4種類の香りを配合

# POLLINUS

## ポリヌス

吊るすだけ

香りで受粉昆虫が集まる

こんな場合におすすめ

- ✓ 気温が低く訪花（受粉）昆虫が集まらない
- ✓ 花が少なく訪花（受粉）昆虫が集まらない
- ✓ ミツバチの数が少なく、受粉できるか不安

### 対象作物

- 仁果類（りんご、梨など）
- 核果類（桃など）
- いちご
- ベリー類（ブルーベリーなど）
- うり類（メロンなど）

### 対象昆虫

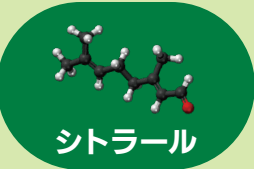
- ミツバチ
- ハナバチ
- ハナアブ



# ハチが好む天然植物由来の香り成分4種類を配合

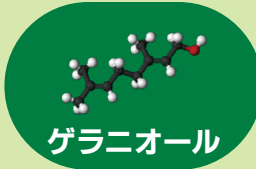
ポリヌスは、作物の受粉で利用されているミツバチなどの受粉昆虫が好む香りを配合した新しい補助資材です。果樹園や栽培施設内にポリヌスを設置することで、受粉昆虫がほ場内に定着し、作物の品質および収穫量が向上します。

### 4つの成分構成




シトラール

+



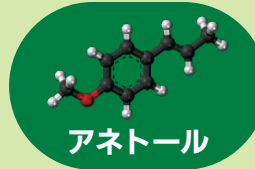
ゲラニオール

ナサノフ腺フェロモンを模倣した香り



リナロール

+



アネトール

花のように訪花昆虫を引き寄せる

ナサノフ腺とは、集合フェロモンを分泌して放出する腺で、働き蜂のお尻から2番目の節を広げて白い部分が出た時にフェロモンとして放出します。働き蜂はこれを花に放出することで、他の働き蜂にどの花に蜜があるか共有します。



外役の働き蜂は出巣すると、触角にある特殊な感覚細胞を使い、様々な混ざり合う匂い物質を手掛かりに餌資源を持つ植物を探します。

腹部上端のナサノフ線からフェロモンを放出しているミツバチの姿

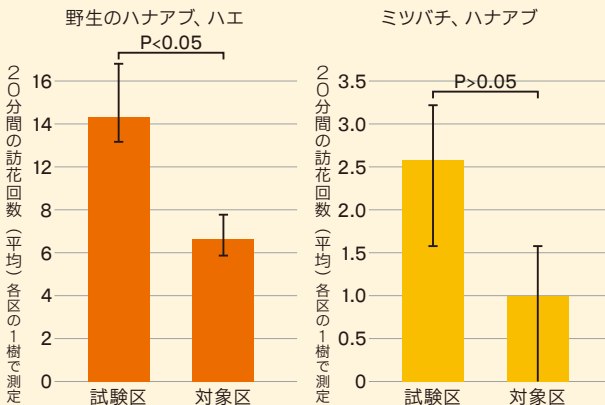
提供：Pollinator, April 2003, Sth Carolina

製品名	ポリヌス
有効成分	テルペン（乳化剤） リナロール、 シトラール ゲラニオール、 アネトール
剤型	徐放性バック剤
内容量	3.5ml × 10個入り
使用量	10a (1000㎡) あたり 施設栽培：6～12個 露地栽培：10～20個
使用方法	果樹など作物の枝（茎）に吊るして使用する

## 試験結果

### 梨園 千葉県市川市

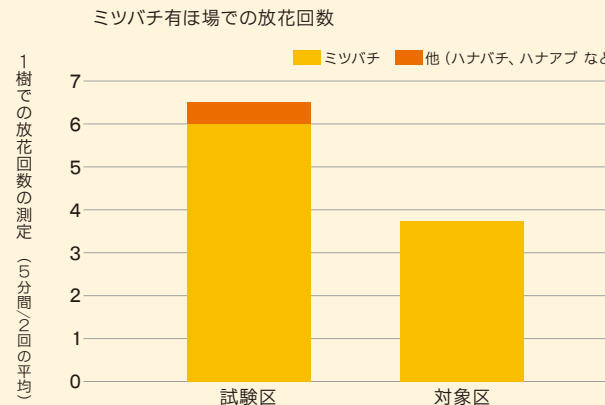
野生のハナアブ、ハエ      ミツバチ、ハナアブ



試験期間	2024年4月7日
梨の品種	幸水（自家不和合性、新高湿植）
栽培面積	試験区：0.5ha 対象区（無処理区）：0.5ha
受粉方法	借りミツバチ：無
開花予測/収穫予想	開花：3月30日、収穫：8月1日

### 梅園 群馬県高崎市

ミツバチ有ほ場での放花回数



試験期間	2025年2月17日～4月16日
梅の品種	白加賀、他（混植園）
栽培面積	合計：70a 試験区（20カップ/10a） 対象区（無処理区）：20a ※
受粉方法	借りミツバチ：有
開花予測/収穫予想	開花：3月10日、収穫：6月10日

※それぞれのほ場は離れている